

生涯スポーツ！



うきは市出身の三原幸三郎（みはらこうさぶろう）さん（7月で70歳）が、70歳以上が出場できるKYFA第8回九州0-70サッカー大会で福岡県代表（福岡六十雀フットボール倶楽部）で出場し、優勝しました。

三原さんは九州代表として5月13・14日に開催されたJFA第8回全日本0-70サッカー大会にも福岡県代表として出場しました。

朝久道場 KPKB チャンピオン、 K-1 アマチュアチャンピオンが市長に報告へ



宗一郎選手



西廣将選手

朝久道場の宗一郎選手が2月12日（日）、九州プロキックボクシング「KPKB」タイトルマッチで見事、第3代KPKBバンタム級チャンピオンとなりました。

また、朝久道場（KING TEAM NISHI）の西廣将選手（吉井中3年）が3月19日（日）、「K-1」アマチュア大会にてジュニア55kgトーナメントで優勝し、第14回大会のチャンピオンに、そしてMVPも受賞しました。

阿弥陀如来像の安置 300年祭



4月2日（日）、小松堀地区において阿弥陀如来様の安置300年祭が開催されました。

数百年の間にお堂の焼き討ちなど何度も荒廃をみましたが、村人のご信心のもとに受け継がれてきました。

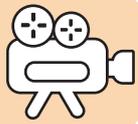
参加されたみなさんはお経をあげ、区の安寧を見守り続けてきた仏様に感謝と、先祖供養の祈りを捧げていました。

空手全日本チャンピオン・準V



4月2日（日）、「第37回 POINT&K.O 全日本空手道選手権大会」が東京で開催され、古賀旭さん、古賀央将さん（神武会所属）が兄弟で出場しました。4月13日（木）に、兄の旭さんが準優勝、弟の央将さんが優勝した事を市長に報告しました。

2人は「これからも空手を続けて心身ともに成長したい」と抱負を語りました。



農業遺産体験「袋野隧道を歩こう」



4月16日(日)先人の偉業を伝えようと地元の農業遺産を体験し、^{すいどう}隧道の中を歩くイベントが開催されました。

袋野隧道は江戸時代に大庄屋田代^{しげよし}重栄、^{しげより}重仍親子が完成させた全長約2kmのトンネルです。取水した水は今も、約200ヘクタールの田畑を潤しています。

隧道の中を直に歩き、先人の偉業を体感しようと、約200の方が参加されました。

4年ぶりに「イヤマーカセー」の掛け声が響きました



4月11日(火)、五穀豊穡と無病息災を願う伝統行事「浮羽おくんち」が行われました。

山北地区の賀茂神社本殿で神事と浦安の舞が奉納された後、2人1組で槍を投げる力強い「振毛槍」の掛け声を始めに、子ども楽やかわいい稚児たちが練り歩く、時代絵巻を思わせる神幸行列が隈上正八幡宮を往復しました。久しぶりの行列に沿道からはたくさんの声援が送られました。

歴史を学び、川を愛で、遊んで踊って!



5月13日(土)、吉井町の素盞鳴神社前で干川まつりが開催されました。

お昼の川底探検の部では、こどもたちが南新川の歴史に触れた後、川の生き物観察や魚のつかみ取りで歓声が上がっていました。

夜のまつりの部では、多くの出店で賑わい、紙芝居や南部式ライブの演目で盛り上がり、最後にはみんなで吉井音頭を踊って、まつりが締めくくられました。

うきは市民大学開講式



4月22日(土)、白壁ホールでうきは市民大学の開講式が行われました。

式には各学部の受講生・一般参加者合わせて166名が出席し、受講生を代表し、いきいき学部の西隈憲一さんが受講生代表挨拶をされた後、記念講話、コンサートが行われました。式の後半には、福岡県警察音楽隊による演奏やカラーガードの演技披露があり、参加された皆さんは手拍子で応えていました。